

今冬に向けた取組方向

平成 27 年 1 1 月
北 海 道

■基本姿勢

本道においては、暖房や融雪により冬に電力の最大需要期を迎え、また、昼夜を通じて高い需要が継続することから、冬の節電は夏以上に難しい面がある。

また、引き続き、電気料金の値上げによる家庭や事業所への影響が懸念される。

このため、道としては、国からの節電要請その他の需給対策を受け、関係機関・団体と連携を図り必要な準備を行うとともに、冬場の電力使用の中で大きなウエイトを占める家庭での取組に特に留意しながら、オール北海道での取組を推進していく。

■取組方向

1 連絡会の開催

(1) 北海道地域電力需給連絡会



これまでの取組の検証等を行うとともに、今冬の実施に関し、情報提供、情報交換を行っていく（緊急時対応体制の整備、冬の安全プログラムの周知等）。

(2) 地域における連絡会


各総合振興局・振興局主催による連絡会議を今冬も開催し、今冬の電力需給の見通しや北海道・冬の安全プログラムの周知、需給ひっ迫時の対応について、地域への情報の浸透を図るとともに、地域の皆様へ、それぞれの実情に応じた節電の取組について呼びかけを行う。

2 道民への呼びかけ

(1) 知事メッセージの発出、多様なメディア等を活用した道民や企業への取組の呼びかけ

- ・道民、各界各層に幅広く節電を呼びかける「知事メッセージ」を発出
 家庭での取組の重要性を発信
- ・ポスターやリーフレット（全戸配付）、広報紙ほかかいどうやデータ放送等の活用などにより節電・省エネ（具体的な節約効果）の呼びかけを実施。
 家庭で取り組める具体的メニューの提供

(2) 企業・団体等との協働による取組の促進

- ・関係機関・団体、地域の商工団体等を通じた各事業所等へのポスター・リーフレットの配付  お客様や職員へのPRを通じた家庭での取組促進
- ・企業等の協力を得ながら、冬の節電に関する普及・PR等を実施

3 道の今冬の節電「集中対策」実施

道も電力使用者の一人として、節電・省エネ（節約）に取り組むことが必要であり、職場環境等に配慮しながら、職場における節電行動の定着に向け、節電の「集中対策」を実施する。数値目標は、今冬の需給見通しで見込まれた節電定着分及びこれまでの取組等を踏まえ、平成 22 年度比▲ 7 %以上の削減とする。